

**テーマ14**

3D都市モデル、三次元測位システム等を活用した消防活動の円滑化

**1. 解決したい課題の内容**

- ・日本において、東海地震、東南海・南海地震及び首都直下地震を始めとした大規模地震の切迫性が懸念されている。こうした震災が発生した場合、消防機関は大規模災害に対する消火活動はもとより、柱が曲がった建物や倒壊した木造家屋などに多くの要救助者が発生することが予想され、こうした現場における救助活動への出動要請が考えられる。
- ・一方で、救助活動に従事する消防隊員の安全性の確保という観点では、屋内さらには垂直位置（階数）では、隊員の行動を把握することができず、不測の事態が発生した際、隊員の位置を瞬時に把握することができない。また、現場指揮では危険情報等の正確な場所を把握することができないという課題がある。

**2. 実現したい目標について**

- ・屋内さらには垂直位置（階数）で活動中の隊員に不測の事態が発生した際、三次元測位システムにおいて、隊員をいち早く発見することが可能となる。
- ・さらに現場指揮から確認できない危険情報の位置がある程度正確に把握することができ、活動隊の安全管理につながる。

**3. 必要とする技術について**

- ・建物の中や地下でも、平面、垂直方向測位を高い精度で測定できること。
- ・3D都市モデル（浜松市全域で整備済み）等により、屋内で活動中の隊員の位置情報が確認できること。
- ・リアルタイムで表現できること。

**4. 想定する実証実験（内容・希望時期等）について**

- ・希望時期は特になし。  
以下の内容を想定するが、これにこだわらない。
- ・消防訓練での使用、検証。

**5. 課題に関連する事業のホームページ URL**

- ・浜松市「共通対策編 第3章 災害応急対策計画 第24節 消防計画」  
<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/kiki/bousaikeikaku/m03024.html>